

授業科目 臨床病態生理学特論	科目概要・形式 2単位 30時間	配当年次 1年 前期
-------------------	---------------------	---------------

科目責任者	尾崎 勇
-------	------

担当者	尾崎 勇, 神成一哉, 渡部一郎, 大山博史, 今 淳, 鳴井ひろみ
-----	------------------------------------

1. 科目のねらい・目標

対象の全身にわたる症状・徴候の原因となる病態生理を理解し、主要な疾病と症状の関連についての知識を深め臨床現場において根拠に基づいたアセスメントができるための知識・技術を身につけ、より高度な看護を実践できる基礎的能力を養う。

<到達目標>

1. 発現している症状・徴候の原因となる病態生理が理解でき草間かおるる。
2. 機能異常をきたした疾患の病態生理学的変化を理解し、判断することができる。
3. 診断に必要な検査とその意味について説明できる。
4. 病状に対する治療・処置について説明し、根拠に基づいた看護実践につなげることができる。

2. 授業計画・内容

	担当教	内容
1	神成	循環器系疾患（1）：高血圧、虚血性心疾患、不整脈、心室中隔欠損症、ファロー四徴症などの病態生理を理解し、発症機序や症状、身体の変化を学ぶ。
2	神成	内分泌・代謝系疾患：最も頻度が高い糖尿病と三大合併症についての病態生理および診断・治療法などを理解する。
3	神成	神経系疾患：パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症などの神経難病の病態を理解し、医学的治療法のみならず、社会福祉的観点も交えた包括的ケアの実情と対策を考える。
4	尾崎	腎泌尿器系疾患：急性・慢性腎不全と代謝アシドーシスの症状と病態生理について理解する。
5	尾崎	主要症候の病態生理：頭痛、手足のしびれや痛みなど頻度の高い多彩な症状の原因と病態生理、診断・治療について理解する。
6	尾崎	循環器系疾患（2）：脳血管障害（脳出血、脳梗塞）、動脈硬化症の病態生理、臨床症状、治療について理解する。
7	尾崎	消化器疾患：食欲不振、嘔吐、腹痛、便秘、下痢などの症状から消化器系疾患（消化管、肝胆膵など）の病態生理の理解および診断・治療に関して理解する。
8	渡部	呼吸器系疾患：肺炎や閉塞性・拘束性肺疾患などの病態生理を理解し治療を学ぶ。
9	渡部	筋骨格系疾患：筋ジストロフィー、骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチの病態を理解し治療と予防とリハビリテーション・ケアについて学ぶ。
10	渡部	喫煙・食事・環境などの悪性腫瘍（大腸がん、食道がん、乳がん、子宮がん、卵巣がんなど）の発症要因とその病態を理解し治療法とケアの方法を学ぶ。
11	今	遺伝性疾患：染色体異常による疾患、遺伝子変異による疾患について理解する。
12	今	免疫と皮膚疾患：アレルギー疾患、膠原病、水疱症、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、湿疹・皮膚炎の概要と治療について理解する。
13	大山	精神疾患（1）：認知症とうつ病の病態生理の理解および診断・治療に関して理解する。
14	大山	精神疾患（2）：妄想およびせん妄の病態生理の理解および診断・治療に関して理解する。
15	鳴井	複合的な症状・徴候を示す事例から、症状や検査結果等から病態生理を検討し、看護計画を立案する。

3. 教科書、参考書

参考書については下記のほか、随時呈示する。

浅野嘉延・吉山直樹 編 看護のための臨床病態学 第2版 南山堂 ISBN978-4-525-50512-7

井村裕夫編集主幹 わかりやすい内科学 第4版 文光堂 ISBN978-4-8306-2030-0

4. 成績評価方法

講義への参加内容やレポートなどにより評価する。

5. 受講要件

看護師免許を取得していること

6. 社会人学生に対する配慮

平日夜間あるいは夏期集中講義で対応する

7. その他